

単純なバージョンアップに
コストをかけすぎていませんか？

ファナティック ハード入替サービス まるわかりガイド



株式会社ファナティック

(1.04)

はじめに

この度は株式会社ファナティックのWEBサイトより本資料をダウンロードしていただきありがとうございます。

本資料は「ファナティック ハード入替サービス」をご理解いただくとともに、

- ✓ ファナティックってどんな会社なの？
- ✓ 検討を進めたいけど、本当に大丈夫？
- ✓ 上長へ進言するための、まとまった資料はないかな？
- ✓ どんな会社で採用されているの？

といったお客様のご不安やご要望に少しでもお応えするために作成しました。

ここに掲載されていない情報や、お客様システム固有のご質問などございましたら、巻末のお問い合わせ先までお気軽にお申し付けください。

なお、本資料は「ファナティック ハード入替サービス」のご導入を検討されている企業様もしくは、エンドユーザー様へご提案を検討されているシステム会社様向けにご用意しております。

事業責任者の齊藤と申します。
ご興味を持っていただきありがとうございます。

基幹システムの維持に課題をお持ちの企業様へ
多くの提案機会をいただいております。

どうぞお気軽にお声がけください！



ファナティックってどんな会社？

ファナティックは法人向けに特化したハードウェアメーカーです。
国内に製造拠点を構え、サーバや産業用コンピュータをFANATICブランドで展開をしています。

● ファナティック 会社概要

社名	: 株式会社ファナティック (Fanatic Computers Inc.)
設立	: 2006年6月
資本金	: 20,000千円
業績、財務状況	: 売上高 27.6億円／営業利益4.5億円、自己資本比率80.1% (2023年6月期)
代表取締役	: 内 義弘
本社	: 東京都千代田区五番町1-11 五番町TMビル
大阪支店	: 大阪府中央区瓦町2丁目3-10 瓦町中央ビル6F
大阪工場	: 東大阪市島之内2丁目11-21
海外	: ベトナム (Fanatic Computers Vietnam Co., Ltd)
事業内容	: ハードウェア (サーバー・ストレージ・産業用コンピュータ) 製品の製造・販売 : ハード入替サービス等のITソリューション提供
認証取得	: 品質マネジメントシステム (ISO9001)、プライバシーマーク使用許諾事業者
WEBサイト	: https://www.fanatic.co.jp/

大手メーカーの既製品では実現できないニッチな課題に、きめ細かなオーダーメイド (受注生産) でお応えしています

▼ FANATIC製 サーバー・産業用コンピュータ製品の一例



(つづき)

PHILOSOPHY

私たちが大切にしていること

ファナティックは、同じ価値観を共有することを大切にしています。
そのため、全社員が持つ冊子「ファナティックDNA」には、
55の大切にしたいことが書かれており、全社員は日々それを意識しています。



基幹システムの寿命はメーカーが決める？

これまで基幹システムは、外的要因をきっかけに システム全体をリプレイスしてきました

ハードウェアの保守切れ・老朽化

OSサポート終了

パッケージソフトウェアのサポート切れ

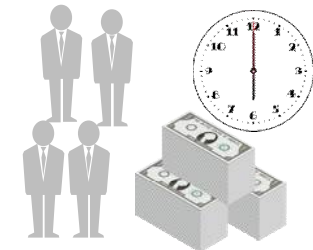
クラウドサービスのサポート切れ

など・・・

しかし**外的要因**に対応するだけの単純なバージョンアップは、
かかる費用や工数に比べ、その“効果”に疑問符がつくことはないでしょうか？

(共感できる項目にチェックをお願いします。ひとつでも当てはまったら読み進めてください！)

- ☐ 最新OSへアップグレードしても、業務効率が上がるわけではない
- ☐ OSが変わるだけなのに、なぜこんなにコストがかかるのか
- ☐ 本当はゼロベースで見直したいのに時間と予算がとれない
- ☐ 仮想化してずっと使えると思ったのに、やっぱりバージョンアップが必要
- ☐ なぜメーカー側の都合で再投資をしないとならないのか



『いまの基幹システムを、コストと人手をかけずに、もう少し維持できないものか・・・』

そのような課題をお持ちのお客様に「ファナティック ハード入替サービス」をご提案します

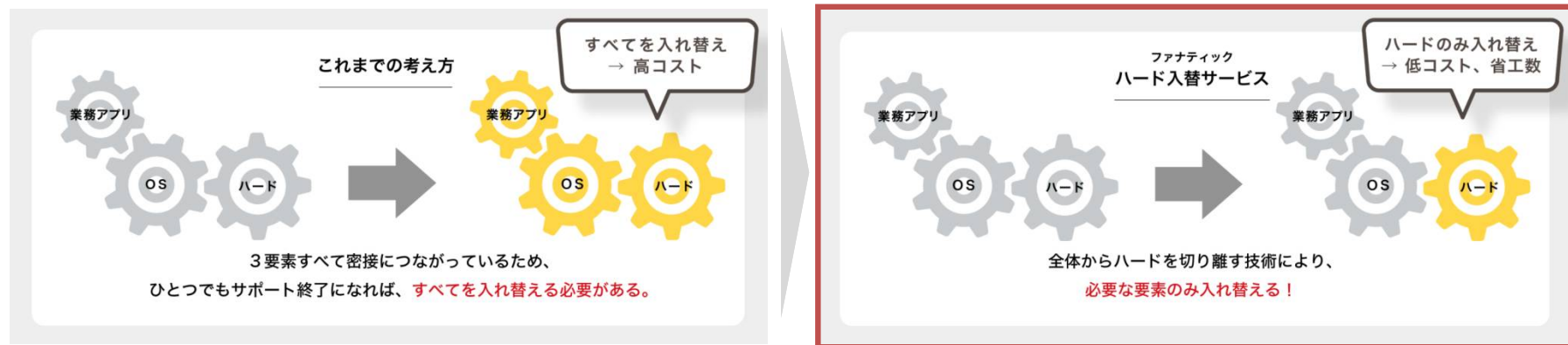
「ファナティック ハード入替サービス」とは

移行実績
800
台超

移行成功率
100
パーセント

国内
唯一の
サービス

保守切れ・老朽化が進むハードウェアだけを新品に入れ替えるだけ。
最小コストでいまの基幹システムを維持することができます。



「ファナティック ハード入替サービス」は、株式会社ファナティックが2013年より提供する基幹システム向けのシステム移行サービスです。

コストと人手をかけずに現システムを維持できるため、多くの企業で採用が進んでいます。

極小コスト

コストを1/10に抑えた例も
ソフトウェア再購入の必要なし

低工数・短期間

お客様の負荷は業務検証のみ
通常3ヶ月で対応可能

安心・実績

800システム超の実績
移行成功率100%

サービスが生まれたきっかけ

お客様からのご相談がはじまりでした。

どうしてファナティックが
基幹システムの移行サービスを始めたの？

『前世代のOSが動くサーバーをオーダーできないでしょうか？』とお客様からご相談がありました。



その理由は『古いOSで稼働する基幹システムを使い続けたい。他社で断られたが、なんとか実現して欲しい！』とのこと。
弊社でチャレンジをさせていただくことになりました。

移行完了まで困難な道のりでしたが、検証が完了したときに、お客様はたいへん喜んでくださいました。

他にもこのような課題を持つ会社は多いのではないか、と
考え、2013年に法人向けサービスとしてスタートしました。

顧客の声から生まれたサービスなんですね！

おかげさまで800システム超の実績を重ねることができました。
物理環境だけではなく、仮想環境でも多くの実績があります。



ハードウェアメーカーの特徴を活かした国内唯一のサービス
です。ぜひ一度ご相談ください。

どんな会社で採用されているの？

大規模な上場企業から中堅・中小企業まで、様々な業種の基幹システムに採用されています。
これまで800システム超の移行実績があり、移行成功率100%を維持しています。
これまでの実績の一部をご覧ください。

業種	業務システム	移行方式	OS	ハードメーカー
電子部品製造	ERPパッケージ (SAP R/3)	P2P	2003R2	HP ProLiant
印刷	ERPパッケージ (オービック OBIC7)、MetaFrame	P2P	2008R2	富士通PRIMERGY
素材メーカー	基幹業務システム (販売・生産・購買・在庫・会計)	P2P	2012/Hyper-V	富士通PRIMERGY
自動車部品製造	生産管理システム (Oracle)	P2P	2012R2	HP ProLiant DL
通信	オリジナル開発 基幹業務、Oracle、SQLServer、Citrix	V2V	VMware ESXi	HP ProLiant ブレード
出版	NECオフコン A-VX 基幹業務システム	P2P	2008 (A-VX)	NEC Express5800
大手病院	電子カルテシステム (富士通HOPE)	P2P	2003	富士通PRIMERGY
医療品製造	自動倉庫制御システム (岡村製作所)	P2P	2003、XP	NEC Express5800
ラベルシール製造	工場内監視制御システム (SCADA) Wonderware InTouch	P2P	2003	東芝 FA3100
医薬品製造	横河電機 (YOKOGAWA) 生産制御システム 操作監視機能(HIS)	P2P	2000	日立製作所 HF

具体的な事例はWEBサイト (<https://www.fanatic.co.jp/p2p/case/>) にも掲載しております。

■三井農林株式会社様 > 事例の詳細を見る



仮想化せずにERPシステムのハードウェアをリブレース、
サーバー保守終了後の故障リ

約90年の歴史をもつ「日東紅茶」ブランド販売を展開する三井農林株式会社。
ERP (基幹業務) システムの刷新プロジェクトのサーバー保守契約が終了。延長ができたシステムを延長するため、同社では、への移行を検討しますが、いずれも合理的な選択として発見した「ファナティック」移行を実現するその手法、移行成功率100%

> 事例の詳細を見る

■株式会社小田急トラベル様 > 事例の詳細を見る



VMware ESXi5で仮想化した基幹システムを移行
安定稼働の確保に加えレスポンス向上にも効果を発揮

小田急電鉄を中心とするグループ企業101社のなかで、旅行部門をする小田急。
VMwareを採用し全58台の仮想マシンによって稼働する旅行業基幹システムとにサーバー機器を更新し使い続けてきましたが、今回のサーバーの保守ともなう更新では、利用している仮想化ソフトウェアであるESXi5をサーバー機器が入手できないという問題に直面。移行台数が多いことに加え、帯はもちろ、夜間も大量のデータを処理しており、システム全体を長時間ごとができないという状況に対し、「ファナティック ハード入替サービス」で、業務や処理が滞ることを避け、停止可能な時間内で新サーバーにシステム全体を移行しました。

> 事例の詳細を見る

■富士電機機器制御株式会社様 > 事例の詳細を見る



運用を止められないデータセンターの電力監視システム、
ハードウェア更新時の装置300台全点検査を不要に

受配電機器や開閉制御機器など、工場のFAラインやインテリジェントビルなどの運転や安全を支えるコンポーネント機器の設計、製造、販売を行う、受配電・制御分野のリーディングカンパニー富士電機機器制御株式会社。
富士電機機器制御が、エネルギーのマネジメントをサポートしているデータセンター事業者では、2010年の開設時より、富士電機機器制御が国内で展開する電力品質監視システム「PowerLogic」を導入。監視用サーバーである他メーカー製ハードウェアは7年間使用しており老朽化も進んでいたため、早急なシステムの更新が必要となっており、この対策として「ファナティック ハード入替サービス」をご採用いただきました。

> 事例の詳細を見る

他のお客様でも...

費用や時間の問題でいまの基幹システムを使い続けたい、
という事情のほかにも
さまざまな理由や背景から当面の間は使い続けざるを得ない、
という声をお聞きます。

当社にご相談いただくお客様の理由・背景



ハード保守契約が満了した



**最新OSへの更新は
高額で予算が取れない**



**現システムの
引継ぎ資料がない**



**機械設備に比べ、
制御パソコンの寿命が短い**



**ライセンスの都合で
仮想環境へ移行できない**



**セキュリティやバックアップ
が心配**



**新システム稼働が延期になり
ハード寿命が心配**



**バージョンアップに
相当な社内工数が発生する**



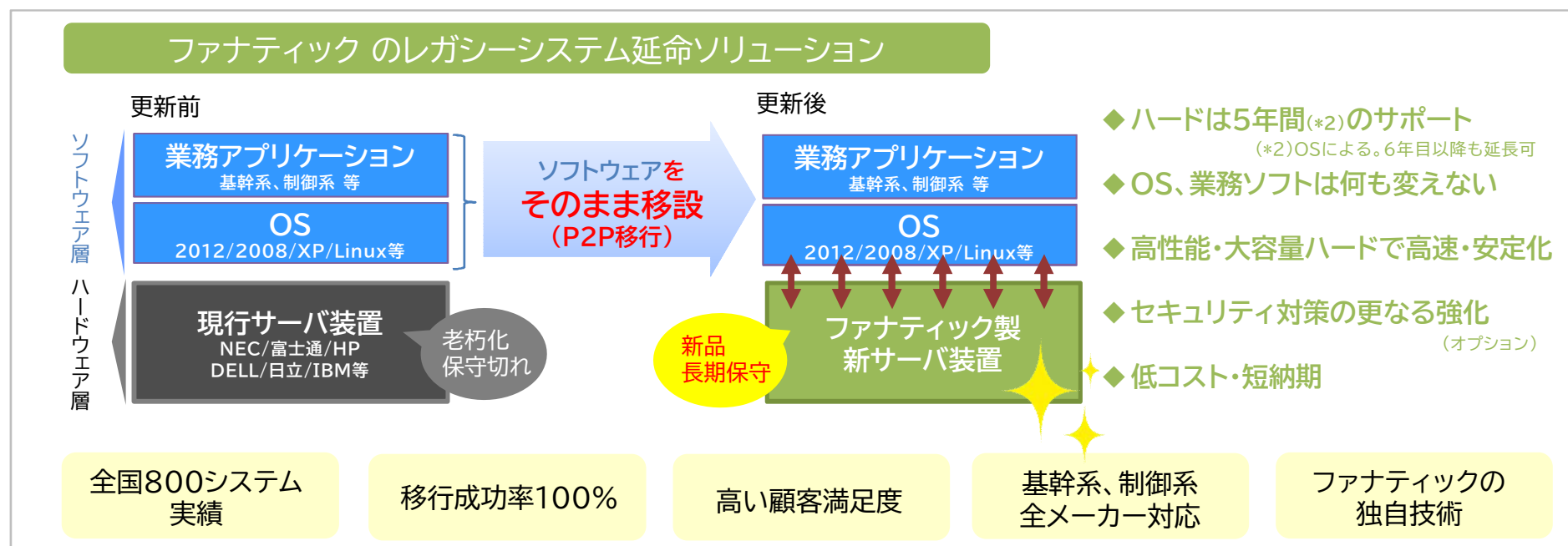
**仮想化しても
バージョンアップが必要になる**

ファナティック ハード入替サービス (P2P型)

P2P型(*1)とは、老朽化したサーバ装置を ファナティック製の新しいサーバ装置へシステム全体を丸ごと移行する手法です

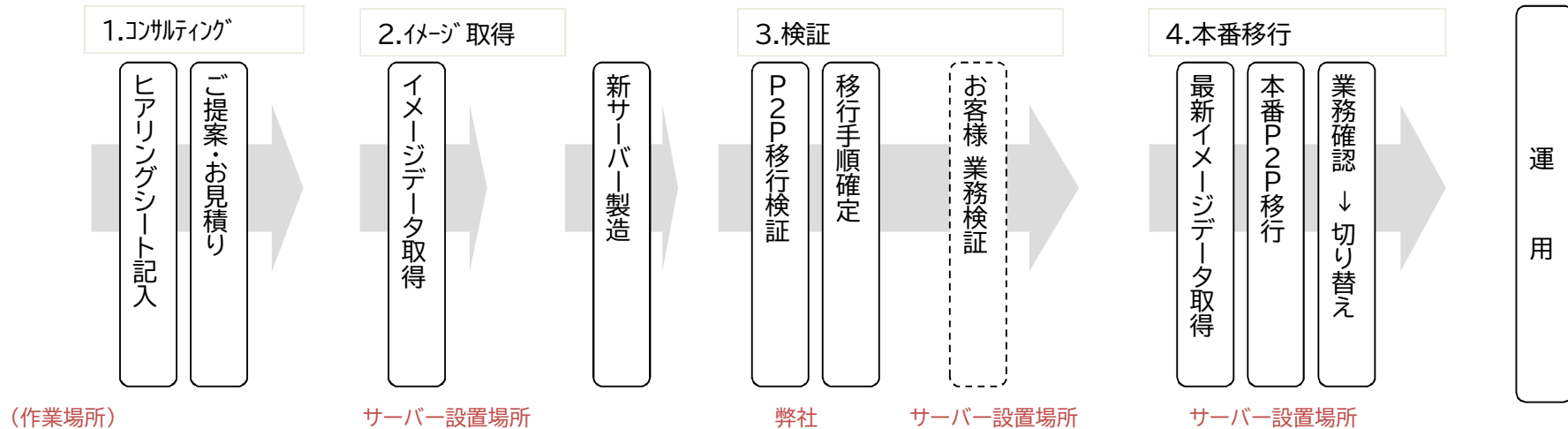
- ✓ 故障リスクを抱えるサーバ装置を、新品のサーバ装置へ更新します
 - ◆ 仮想技術は使わないP2P型なので、業務システムの動作全般にまったく影響がありません
 - ◆ 運用後も本移行作業を起因とするトラブル・不具合は一切発生しておりません
- ✓ シンプルな移行手法でシステム管理者の負担が少なく、かつ短期間、低コストで移行が完了します
 - ◆ アプリケーションには一切手を入れませんので、ライセンスやシステムの保守性に影響はありません
 - ◆ 使い勝手は一切変わることがなく安心して維持できます
- ✓ バックアップシステム、セキュリティ対策など豊富なオプションもご用意

(*1) P2P(Physical to Physical)、物理コンピュータから物理コンピュータへ移行する手法



移行手順

経験豊富な専門技術者がワンストップで担当します



1. コンサルティング フェーズ

現システムの構成・環境とご要望をヒアリングシートにご記入いただきます。弊社で代行調査も可能です。最適なハードウェアおよび移行手法を費用面含めご提案します

2. イメージデータ取得 フェーズ

現サーバー装置からディスクイメージデータを取得します。データ容量や形式によりますが約3～5時間のシステム停止が必要です ※お客様立会いの下、作業を実施します

3. 検証 フェーズ

2で取得したイメージデータを完成した新サーバーへP2P移行して、単体での動作確認テストを実施します。必要に応じて、お客様にもご確認いただきます

4. 本番移行 フェーズ

最新のディスクイメージデータを取得し、その場で新サーバーへP2P移行します。お客様による業務確認の後に運用を開始します。約5-8時間のシステム停止が必要です ※現サーバーの性能やデータ容量によります。お客様立会いの下、作業を実施します

運用 フェーズ

最長5年間の保守サポート体制(全国)を整えております。※モデルにより年数は異なります

FANATIC製ハードウェア（一例）

2012稼働モデル

Intel Bronze 3106 x1
メモリ 8GB～
SSD SATA 480GB x2
RAID1/5/6/10/50/60
G-LAN x2
電源:シングル/冗長
最長5年保証

2008稼働モデル

Intel Xeon E5-2609V4 x1
メモリ:4GB～
SAS 15Krpm 300GB x2
RAID1/5/6/10/50/60
G-LAN x2
電源:シングル/冗長
最長5年保証

2003稼働モデル

Intel Xeon E5-2609V2 x1
メモリ:2GB～
SAS 15Krpm 300GB x2
RAID1/5/6/10/50/60
G-LAN x2
電源:シングル/冗長
最長3年保証

Win7稼働モデル

Celeron G3930TE 2.7GHz
メモリ:4GB～
SATA 7.2Krpm 1TB x1
G-LAN x2
シングル電源
デスクトップ型・タワー型
最長5年部品保証

ESXi5/6稼働モデル

Intel Xeon E5-2609V3 x1
メモリ:8GB～
SSD SATA 480GB x2
RAID1/5/6/10/50/60
G-LAN x2
電源:シングル/冗長
最長5年保証

■選べるスペック

CPU、メモリ容量、SAS/SATA、RAIDレベルなど

■選べるシャーシ

- ・タワー型
- ・ラックマウント型（1U-4U）
- ・デスクトップ型



※Windows XP、Linuxなどの稼働モデルもございます

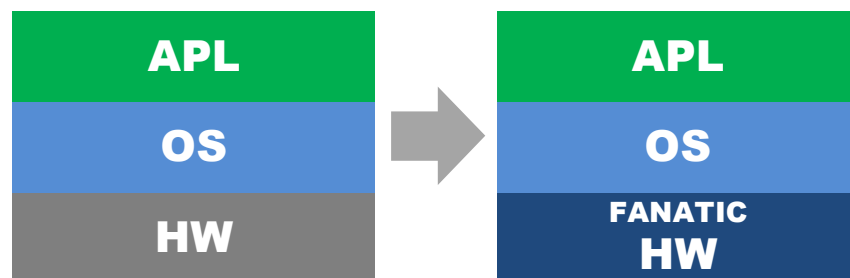
※ハードウェアのみの販売も可能です

あらゆる移行パターンに対応

ファナティック ハード入替サービスは、物理環境だけでなく仮想・クラウド環境との間の移行も対応可能です。複数の業務システムを仮想化して統合したいといったニーズ、仮想基盤上の一部の業務システムのみ物理サーバーへ移行したいといったニーズなど、さまざまなご要望にお応えすることができます。

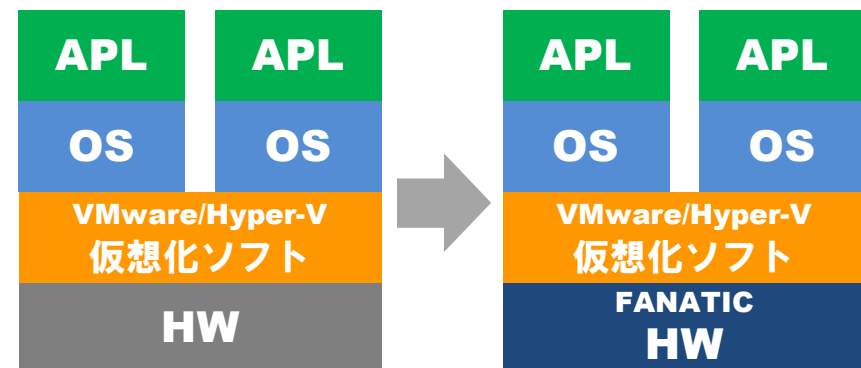
P2P (Physical to Physical)

物理環境から物理環境へ移行



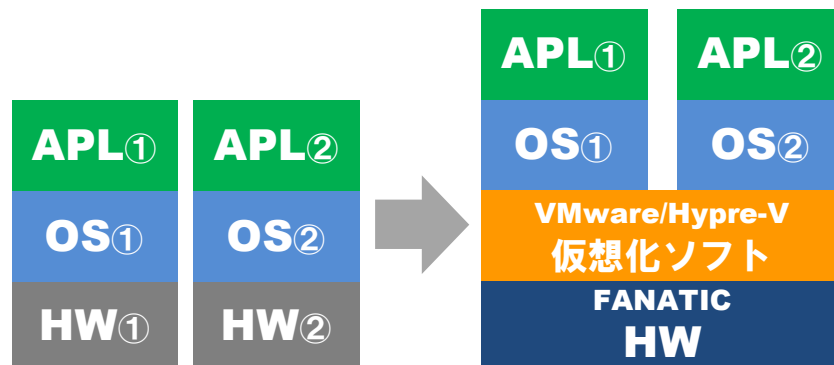
V2V (Virtual to Virtual)

仮想環境から仮想環境へ移行



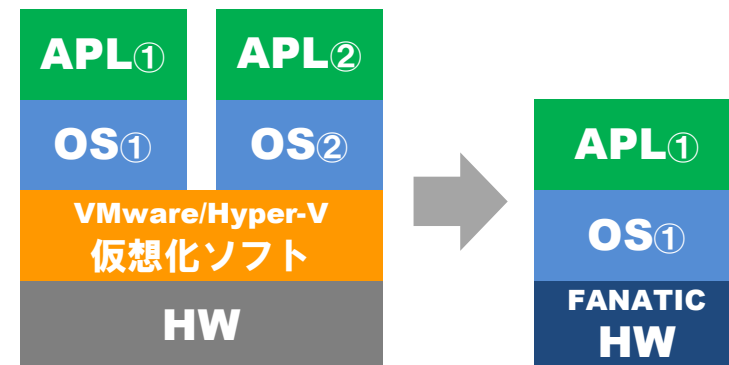
P2V (Physical to Virtual)

物理環境から仮想環境へ移行（複数台を集約）



V2P (Virtual to Physical)

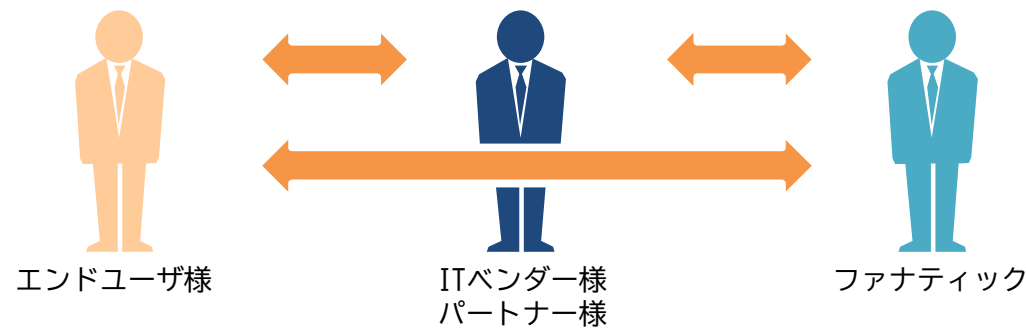
仮想環境から対象システムのみ物理環境へ移行



ITベンダー様との協業も推進しています

「ファナティック ハード入替サービス」は、ITベンダー様／パートナー様との協業も推進しております。

エンドユーザ様の課題解決へ一緒に提案をさせていただきます。



●ITベンダー様との協業事例 株式会社日立システムズ様

全文はWEBサイトに掲載しております。

<https://www.fanatic.co.jp/p2p/case/partner/hitachi/>

■ 現行システムの対策における問題

東証一部上場企業でもある建設業大手のA社では、工事や生産など業務全般を管理するために独自で開発し長期に渡り使用してきた基幹システムの刷新が課題となっていた。

開発当時と比べて会社が発展しビジネスの規模も拡大するなか、担当の変更によるブラックボックス化が進みハードウェアも保守契約満了を迎えることから刷新の難易度が高く、同時に早い対応が求められていた。

新たなシステムの開発を全面的に任されたのが、人とITのチカラを結集した真のワンストップサービスの提供を強みとする日立システムズだ。日立システムズが、この新システムの開発と並行して対策を講じるが必要とされたのが、新システムが稼働するまで使われる現行システムへの対策だった。

“信頼”と“技術”の協業により、
お客様へ新たな価値をお届けします



【オプション】 基幹システムのさらなる安心をご提案

■セキュリティ対策

ホワイト
リスト型で

強力な保護



パターン
ファイル不要で
システム負荷が

軽い



簡単導入
しかも

運用負荷が低い



安価かつ
サポートも◎

コスト◎



トレンドマイクロ「ホワイトリスト型(ロックダウン型)セキュリティ対策ソフト」でがっちり守ります

パターンファイル不要なので長期利用に最適です



Securing Your Journey
to the Cloud

■バックアップシステム再構築

システム全体を 確実に！完全に！丸ごとバックアップします
スケジュール実行でらくらく運用！世代管理も可能
選べるバックアップメディア
5年サポート可能

Acronis

安心！丸ごとバックアップ！

外付けUSB-
HDD装置



NAS装置



他のコン
ピュータ



■UPS入れ替え

レガシーOSに対応したUPS連動ソフト標準添付
切り替え時間ゼロの常時インバータ給電方式がお勧め！
停電、瞬断などの電源リスクからレガシーシステムを守ります
標準3年、最長7年サポート可能

停電の多い場所に有効です！



OMRON

安心！長期サポート

【コラム】DX推進と経費削減を両立

■すべてのシステムを最新にする必要はない

企業のITシステムは「従来型のITシステム」と「デジタル戦略型のITシステム」と二極化していきます。

「デジタル戦略型」は投資側のシステムとして位置づけられ、トライ&エラーを繰り返しながら積極的な投資が進みます。

一方「従来型のITシステム」は停まることが許されない基幹システムが代表的なシステムですが、経費側のシステムとして位置づけられますので、極力コストを抑える傾向にあります。

必要・不必要の判断ができずに無駄な投資をしてしまっている従来型のシステムは世の中にいっぱいあるはずです。

大量生産・大量販売ビジネスの終焉が近づいているように、全てのシステムを最新にバージョンアップする時代ではありません。

限りある経営資源を新たな価値を生み出すシステムへと振り向けていくために、システム更新のあり方を考え直す時期に来ているのかもしれません。

投資対象の二極化が進む

●経費側のシステム

従来型のITシステム

停止が許されない基幹システム
バックオフィス系

長寿命(10年単位)

経営資源の効率化

守り

経費削減

●投資側のシステム

デジタル戦略型のITシステム

トライ&エラーで開発が進む
デジタルIT系

短寿命(数年)

新たな価値を生み出す

攻め

積極投資

【コラム】産業システムと制御用パソコン

■機械装置と制御用PCの耐用年数のギャップ

多くの生産現場で導入されている産業制御システムは、システム一式をまとめてメーカーから納入されることが多く、その中には制御用パソコンも含まれます。メーカーは長期に保守サポートを実施してくれますが、パソコンに関しては短寿命であることから、定期的に更新提案があります。

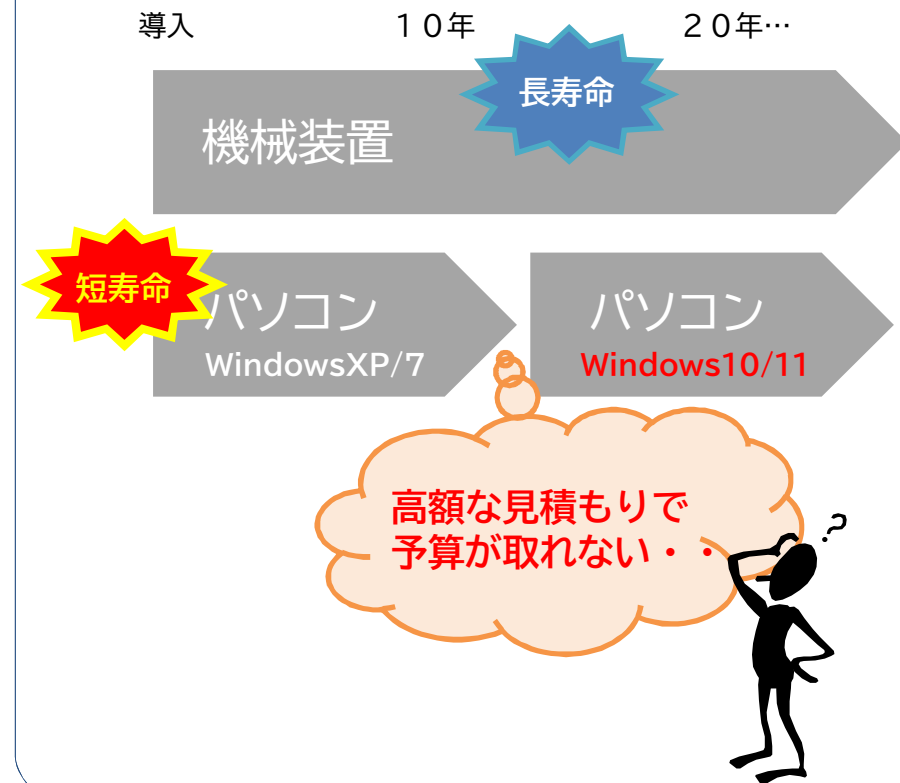
ところが、Windows XPやWindows7といった多くの生産現場で活用されるOSが搭載したパソコンの入手が難しく、最新OSが搭載されたパソコンにあわせ、システム全体をバージョンアップする提案となり、高額な見積もりになっています。

このようにパソコンの寿命という問題ひとつが、システム全体の問題へと波及していくこともあらかじめ想定する必要があります。

製造、検査、出荷など、さまざまな工程で使われている装置の不具合が業務にあたえるインパクトは決して小さくありません。

隠れたリスクといえる制御用パソコンの老朽化に不安があれば、ファナティック ハード入替サービスの利用を考えてみませんか。

機械装置と制御パソコンの 寿命ギャップ問題は必ず発生する



詳細はWEBサイト (<https://www.fanatic.co.jp/p2p/column/173/>) にも掲載しております。

(最後に)

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。

最後に、これまでご採用いただいたお客様の声をお伝えさせてください。
(本当に言ってくださったお言葉です)

「最初は心配だったけど、全く問題なく移行できました」

「あっという間に移行が終わって驚きでした」

「本当に何も変わらずそのままなんですね」

「おかげで過剰な投資をしなくて済みました」

「基幹システムの不安が解消されました」

「やっと新しいシステムの開発に注力できます」

「こんなに面白い提案をしてもらえる会社があったんですね」



過去を振り返ると、システム再構築の検討をはじめたものの、検討時間が足りず時間切れで、費用対効果の低いバージョンアップを選択せざるを得なかった事例が多く見受けられました。また今後、複雑化と高難易度化が進む基幹システムの再構築には、少なくとも数年の期間が必要になるでしょう。

そのような経験を踏まえると、現在のシステムの寿命を延ばす取り組みが重要になってきます。いまから考え始めるのは決して早くはないと思われます。ぜひお気軽にファナティックへご相談ください。全社一丸となって全力でご提案をさせていただきます。

お問い合わせ先

『もう少し詳しく聞きたい』『具体的な相談をしたい』『おおよその価格が知りたい』
など、どんなことでもお気軽にお問い合わせください。

株式会社ファナティック

〒102-0076 東京都千代田区五番町1-11 五番町TMビル
(最寄り駅：JR市ヶ谷駅 徒歩1分)

担当：ソリューション事業本部 斉藤、妹尾（せのお）

E-mail. contact_us@fanatic.co.jp

Tel. 03-5212-1466

専用フォームからの お問い合わせはこちら

電話、メール、どちらでも結構です
Teams、Zoom等によるご説明也大歓迎です